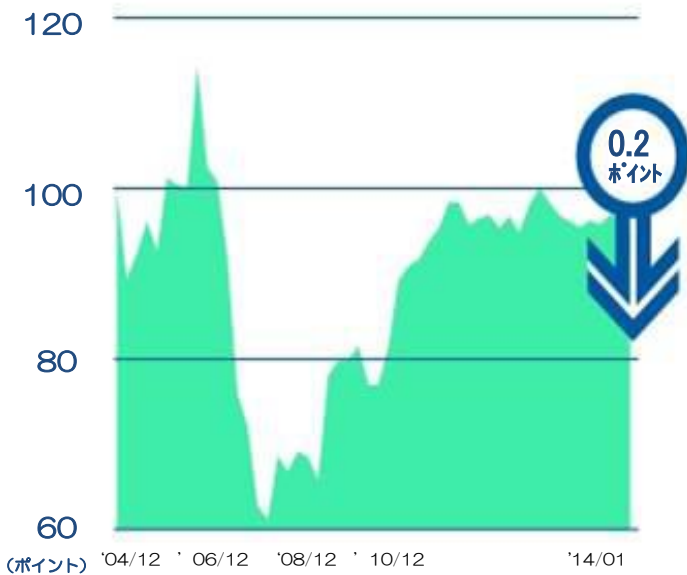


2014年 2月

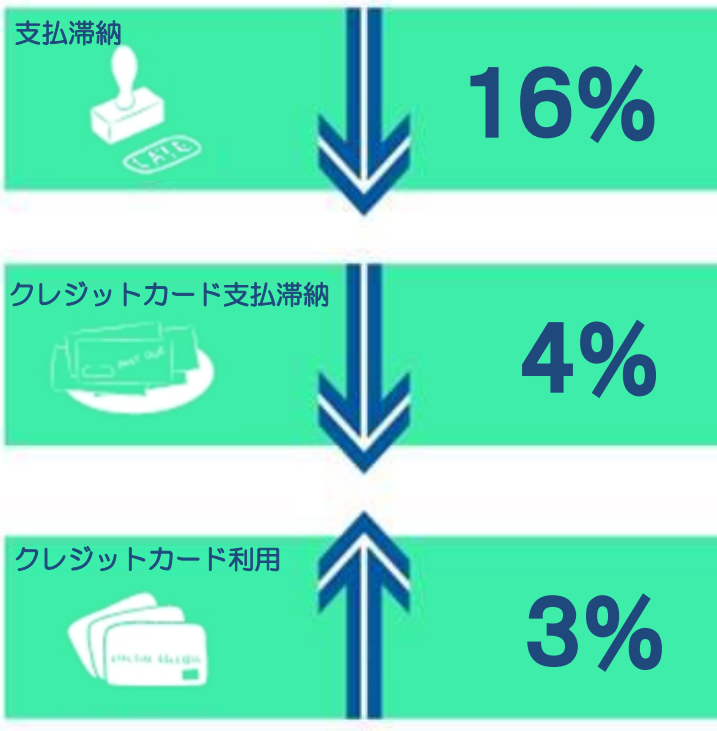
www.dnb.com/tracker

中小企業健全性指数

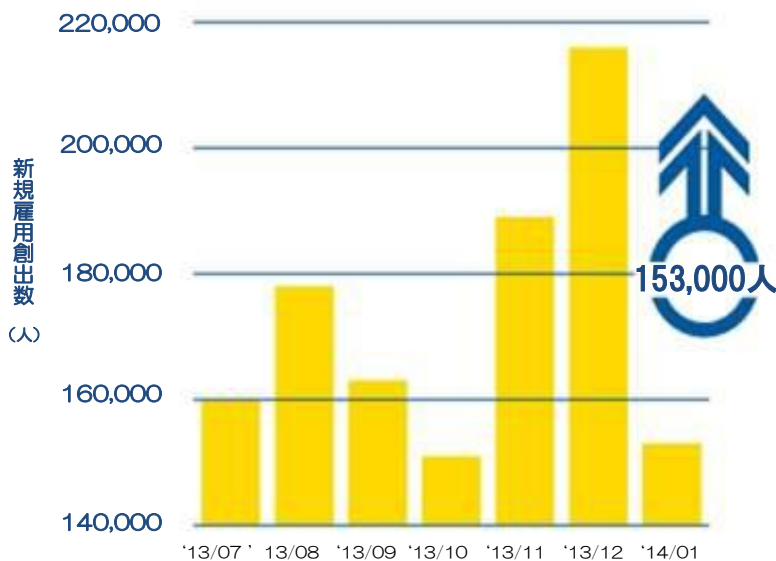


出典：D&Bグローバルデータ、インサイト&アナリティクス

2014年1月、中小企業はクレジットカードや請求書の支払滞納は改善しましたが、D&Bの中小企業健全性指数は若干低下しました。



米国の雇用健全性



出典：D&Bグローバルデータ、インサイト&アナリティクス

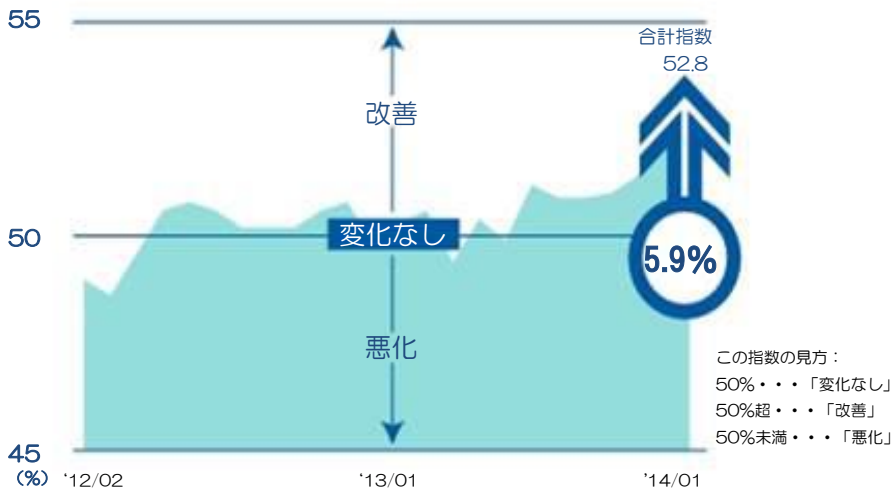


D&Bの推定では、2014年1月、小売及びビジネスサービスでの雇用増により、米国の新規雇用創出数は153,000人となりました。全体的な雇用の伸びのペースは、緩やかな改善を続けると予測されます。

2014年 2月

www.dnb.com/tracker

米国企業健全性指数



出典：D&Bグローバルデータ、インサイト&アナリティクス

米国企業の健全性は、2014年1月、6%近く改善し、2010年12月にこの指数の算出を開始して以来、最高の数値を記録しました。企業は財務内容全般の改善を続け、2012年に加速したトレンドをさらに押し上げました。

解説

2014年1月の「D&B米国経済健全性レポート」には、米国企業への明るい材料が見られます。中小企業健全性指数はやや低下したものの、米国の中小企業は着実な改善を続けています。クレジットカードや請求書の支払滞納が減ってきた一方で、クレジットカードを利用する企業が増えたことは、従来の融資には制約があることを示唆しています。一方、新規雇用創出数は、153,000人に上りました。小売及びビジネスサービス部門が、当月の米国での雇用の伸びを牽引しました。米国企業全体の健全性は、1月、指数が上昇し、52.8%を記録しました。これは、2010年12月にこの指数を算出し始めて以来、最高の値となっています。持続可能性、滞納予測、総損失予測の加重平均に基づけば、2014年初め、米国企業の経済は堅調であるといえます。全体として米国経済の見通しに明るい材料が増えており、2014年に成長ペースが加速することを示唆しています。

各指数の算出方法について

「中小企業健全性指数」は、支払パターン及びクレジットカードの利用等の加重により、中小企業の前年比実績を測定評価したものです。「米国の雇用健全性」は、中小企業健全性指数の業界データを米国労働統計局（BLS）の数値と組み合わせて、毎月の非農業部門雇用者数を予測したものです。「米国企業健全性指数」は、D&Bの持続可能性格付け、滞納予測、総損失予測の等加重平均の前年比増減を示したものです。変化の大きさを測定する累積景気動向指数（累積DI）には、ゼロ（全企業が高リスクを記録）から100%（全企業が低リスクを記録）までの幅があります。データについては、2014年1月31日の時点で入手可能なデータを元としています。

詳細についてはウェブサイト (www.dnb.com/tracker) をご覧ください。

ダンアンドブラッドストリート® (D&B) について

ダンアンドブラッドストリート (NYSE:DNB) は、商業情報およびビジネスインサイトを提供する世界有数の情報提供企業であり、172年にわたって企業の「Decide with Confidence® (確信のある意思決定)」を支援してきました。D&Bのグローバル商業データベースには、2億3000万件以上のビジネスデータが記録されており、お客さまに質の高いビジネス情報を提供するD&B独自のDUNSRight®品質保証プロセスが、このデータベースを強化しています。これら質の高い情報は、お客さまが重要なビジネス決定を行う上で信頼を寄せている当社のグローバルソリューションの基礎となっています。

© Dun & Bradstreet, Inc. 2014. All rights reserved. (DB-3716 2/14)